

# 令和元年度 全郡教科等研究まとめの会ご案内

学び続ける個の育成（1年次報告）



テーマが新しくなったこの1年間の研究の歩みを  
3委員会の実践を通して振り返りたいと思います。

報告会を行います

上郷小学校

大勢の皆様のご聴講をお願いいたします

日時	令和2年2月1日（土）	13:00~16:00
会場	飯田市鼎文化センター	ホール（入場無料）
講師	壬生 英文 先生	（公益社団法人下伊那教育会全郡教科等研究講師）
発表者	教科等研究部委員会（算数・数学科 家庭, 技術・家庭科 特別活動）	喬木村立喬木第二小学校
主催	公益社団法人	下伊那教育会
後援	公益社団法人	信濃教育会

# 教育実践の発表

## 算数・数学科委員会

飯沼 秀幸（高森南小学校） 白鳥 京志（高陵中学校）



子どもが学び続けるためには主体性が重要です。主体的に取り組めるように、その子が自分で決めだし追究できる授業を考えました。高森南小ではわる数と商の大きさの関係をわる数を自分できめて調べました。高陵中では、東京オリンピック陸上の優勝タイムを、過去のデータを一次関数で処理して自分なりの予想をしました。必要感を大切にした授業での子どもの姿、教師も学び続ける姿を発表します。



## 家庭、技術・家庭科委員会

丸山 義明（旭ヶ丘中学校） 千野加世子（竜丘小学校） 笠原 稔一（高森中学校）



「もっと快適に暮らすにはどうしたらいいだろう？」  
「このままで安全に生活できるだろうか？」自分の生活から見いだした課題を仲間と協働しながら解決し、生活での実践につなげていこうとする子どもの姿の中から、『生活や社会につながる題材』『驚きや発見など願いや課題に結びつく対象との出会い』『題材を通した子どもの変容』に焦点をあて発表します。



## 特別活動委員会

今牧 渉（松尾小学校） 中塚 洋介（飯田東中学校）



話し合い活動において複数の意見が並立しているとき、子どもはどのように納得して合意形成や意志決定をしていくのでしょうか。話し合いのルールやポイントを明示すること、ホワイトボードや検討シートを使ってグループ討議を行うこと、思いを聞き合える集団をつくることで、話し合いそのものを楽しみながら自己肯定感が育まれていくと考えています。



## 喬木村立喬木第二小学校

北澤 裕美 喬木第二小学校研究部会



「明るい笑顔の花がいっぱい咲く」「ワクワクする」「全国に誇れる」そんな喬木第二小学校をめざし、「思考・判断・表現の力をつける子どもの育成」の研究を全職員で取り組んでいます。喬木村が力を入れているICTを活用し、様々な方法でアプローチしています。殊に「喬木ドリル」は、ICTを活用した本校独自のドリルシステムです。全校で取り組み、めざす力をつけてきた子どもたちの姿を発表します。



# 講演 「『探る一年』から見えてきたこと」

講師 壬生 英文 先生（公益社団法人下伊那教育会全郡教科等研究講師）

## 日程案内

受付	開会式	研究実践の発表	講演	閉会式
12:40～12:55	13:00～13:15	13:15～14:45	14:45～15:45	15:50～16:00

駐車場は、鼎文化センター駐車場・鼎中学校駐車場・鼎小学校校庭をご利用ください。